レジメン登録申請書

診療科	乳腺内分泌外科	申請医師		提出日	
レジメン名称	トロデルビ				
対象疾患・ステージ等	化学療法歴（タキサン系抗悪性腫瘍剤による）のある再発手術不能TNBC乳癌				
適応の有無	☑ 保険適応あり　☐ 保険適応なし				
入院実施による算定方法	☐ DPC包括対象　☑ DPC包括対象外（出来高算定）　（薬剤師が診療情報士に確認する）				
本治療の位置づけ	化学療法歴（タキサン系抗悪性腫瘍剤による）のあるホルモン受容体陰性かつHER2陰性の手術不能または再発乳癌				
使用予定日					

治療内容	投与順	薬剤	投与量	時間	投与方法	投与スケジュール 1日目	2日目	3日目	日目	8日目	9日目	10日目	日目	15日目	日目	22日目	週目
	Rp 1	パノロセトロン注	0.75mg/50mL	30分	div	●				●						●	
		デキサート注	6.6mg														
		d-クロルフェニラミンマレイン酸塩注	5mg														
		ファモチジン注	20mg														
	Rp 2	生食	50mL	全開	フラッシュ	●				●						●	
	Rp 3	サシツズマブ ゴビテカン注	10mg/kg	180分	div	●				●						●	
		生食	250mL														
		2回目以降は1～2時間に短縮できる															
		投与量275mg未満は生食100mL、850mgを超える場合は生食500mLで希釈する															
	Rp 4	生食	50mL	全開	フラッシュ	●				●						●	
		ｱﾌﾟﾚﾋﾟﾀﾝﾄ	125mg		po	●				●						●	
			80mg				●	●			●	●					●
		デキサメタゾン錠	8mg	1日2回朝昼食後	po		●	●			●	●					●

総投与時間	3.5時間＋フラッシュ
血管外漏出時のリスク	壊死起因性にも炎症性のどちらにも分類されていないため具体的な対処方法はあきらかとなっていない
（備考）調製時・投与時の注意点など	調製には生理食塩液のみを使用すること。 溶解方法：1バイアルに20mLの生理食塩液をゆっくり加え、本剤10mg/mLの溶解液を調製する。 バイアルをゆっくりと回して混和し、最長15分間かけて溶解する。振とうはしないこと。 希釈方法：濃度が1.1～3.4mg/mLとなるように算出された量の生理食塩液が入った輸液バッグに、泡立ちを最小限に抑えるためゆっくり注入する。内容物を振とうしないこと。 遮光
1サイクル期間	21日
総コース数	PDまで

化学療法委員会は　奇数月の第1火曜日です。レジメン申請書の提出は化学療法委員会2週間前までにお願いします。